

【オリジナルジングル台本01】

『千年ガジェット狂騒曲』

作 ・・双海たみい

○登場人物

イーサン 古代機械に目がないオタク気質な青年。

発明家の助手をしている。

ツエラ

昔のイケメンに目がないわがまま娘。

イーサンが助手をする発明家の孫。

○本編

イーサン

フハハハハ！ 俺は選ばれた……神に、そして世界に！

ツエラ

でた、イーサンの発作。

イーサン

ほ、発作いうな！

つーか勝手に入ってくんなくてあれほど言っただろうが！

ツエラ

さつきノックしたじゃない。気付かないアンタが悪いんですよ。

で、それは？

イーサン

フフフ、よくぞ聞いてくれた。さあ手に取って刮目するがいいさ！

ツエラ

……なにこれ、変な板。

イーサン

スマホっていう昔の通信端末だ。

なんと現役稼働する超レアな個体なんだぜ。

ツエラ

そんなにすごいのか？

イーサン

つたり前だろ！ 千年前の古代機械だぞ！

資料でしか見れなかった憧れを手に取って、しかも操作できる……

なんて夢のようなんだ。

ツエラ      へえーそうなのねー。

イーサン      うわぁ超興味なさそうな反応。

ツエラ      私が興味あるのは大昔のイケメンだけだもーん。

イーサン      …お前も大概変な趣味してるよな。

ツエラ      あっ！ ねえ、これって連作先とか残せる？

イーサン      え？ ああ、できるはずだけど。

ツエラ      じゃあ私の脳波番号記録して、機械しか送れない

あのポンコツタイムマシンで過去に送れば、昔のイケメンと

連絡とれたりするって事よね!? 我ながら天才的な発想だわ！

イーサン      いや、この時代の人は脳波通信とかしないから。

メールとかSNSとかそこら辺だから。

ツエラ      めー…？ えすえぬ…？ え、テレパシー使えないの？

じゃあどうすれば…。

イーサン      …どうしてもってんなら博士にメールの使い方聞けば？

あの人そういう過疎文化詳しいし。

ツエラ      それよイーサン！ たまには役に立つじゃない。

じゃ、そういうことだからこれは貰ってあげる。

イーサン      なんでそうなる!!

ツエラ      だってこれ私への誕生日プレゼントでしょ？

いやーまさかイーサンも彼氏探し手伝ってくれる日がくるなんてね。

任せて、私絶対イケメンと付き合ってみせるから！

イーサン      はあ!? 誰がお前のためだなんて言った…っておい待てこら！

俺のスマホ返しやがれー!!

○エンディング

イーサン 「竹内順子の「Take a Chance ラジオ！」

ツエラ 「響ラジオステーションで好評配信中だ！」

イーサン 役、○○と、

ツエラ 役、○○がお送りしました……